

第9回「臨床宗教師研修」のご案内

主催 東北大学実践宗教学寄附講座

【研修の目的】

「臨床宗教師」は、公共的な役割を果たす「宗教的ケア」の専門家である。この研修は、宗教者としての全存在をかけて人々の苦悩や悲嘆に向き合い、そこから感じ取られるケア対象者の宗教性を尊重し、公共空間で実践可能な「宗教的ケア」を学ぶことを目的とする。そのために次の四点を習得することを目指す。

①「傾聴」と「スピリチュアルケア」の能力向上

自分の宗教宗派の教義や世界観を前提として対象者に接するのではなく、まず相手の声を真摯に聴き、悲嘆を受け止め、自然に顕れてくる宗教性を尊重することの重要性を学び、それぞれを現場での実践やグループワークを通じて体得することを目指す。

②「宗教間対話」「宗教協力」の能力向上

他宗教、他宗派の宗教者と目的を一にして共に学び合う機会を通して、自分の信仰をあらためて相対化することを試み、他者の信仰を尊重する姿勢を学び、自らの気づきを共有する。

③宗教者以外の諸機関との連携方法を学ぶ

公的機関と宗教者が連携し、宗教者が公共的存在として活動するためには、お互いに様々な配慮が必要である。宗教者としてのアプローチがどのような影響を与えるか、自分自身の言動を見つめつつ、慎重かつ積極的な働きかけの方法を学ぶ。

④幅広い「宗教的ケア」の提供方法を学ぶ

他の宗教宗派の儀礼や世界観を学び、他の宗教、他宗派の宗教者との同一性と差異性についての理解を深める。その上で、共に祈りを捧げることや、ケア対象者の求めに応じて適切な宗教者や宗教組織を紹介する方法について学ぶ。

【開催日程】

5月から7月までの間に2泊3日ないし1泊2日の全体会を3回開催し、全体会とその次の全体会までの間を実習期間とする。

<全体会1>

日 程： 2016年5月16日（月）午前10時～5月18日（水）午後5時

集合場所： 石巻市・JR石巻駅前（午前9時15分集合）

<実習期間1>

日 程： 2016年5月19日（木）～6月13日（月）

実施場所： 各実習先（研修者自身が個別に実習先と日程調整）

<全体会2>

日 程： 2016年6月14日（火）午前10時～6月15日（水）午後6時

集合場所： 仙台市太白区・JR南仙台駅前（午前9時30分集合）

<実習期間2>

日 程： 2016年6月16日（木）～7月18日（月）

実施場所： 各実習先（研修者自身が個別に実習先と日程調整）

<全体会3>

日 程： 2016年7月19日（火）午後3時～7月21日（木）午後5時

集合場所： 仙台市太白区・JR南仙台駅前（午後2時30分集合）

【参加費】

研修費は無料。食費・宿泊費・研修中の交通費、病院等施設実習費（5,000 円程度）は自己負担。

※全体会の宿泊は仙台市内／石巻市内の寺院での合宿

※実習先への交通費・宿泊費は自己負担。

【募集要件】

参加人数： 12 名程度（実習先の班ごとに定員を定める）

対象者： 信徒の相談に応じる立場にある者。

※応募者多数の場合は、宗派教派・年齢・性別・地域のバランスなどを総合的判断して決定する。

※応募締め切り：2016 年 3 月 10 日（木）必着。

※指定の申込用紙に必要事項を記入し、下記のレポート等を添えて郵便で送付すること。

※精神的に不安定な状態の方はご遠慮ください。

＜提出書類＞

1. 指定の申込用紙
2. 履歴書：氏名・住所・性別・生年月日・学歴・職歴、これまでに受けた研修歴（本研修の講義内容に関わることも含む）、ボランティア活動などの社会活動歴も記載する。A4 版サイズで 2 枚以内。書式自由。
3. 参加動機：これまで／これからの自分自身の「臨床宗教師」としての活動をふまえて、今回の研修に参加する動機や、研修で特に学びたいこと、希望する実習先を選択した理由について 1000 字程度にまとめる。
4. 生育歴：出生から現在に至るまで、自分の人生に影響を与えた出来事について、その時の思いを含めて 5000 字程度で記述する。さらに、記述して気づいたことや感想を 1600 字程度にまとめ、1600 字程度のレポートだけを提出する。（5000 字程度のレポートは研修が終わるまで自分で保管する。）
5. 信仰歴：自分自身の人生観、死生観、他宗教との関わり、影響を受けた人物や書物などを踏まえて、“信仰者となり、さらに現在の「信徒の相談に応じる立場」になった経緯、その立場における相談の概要・方法”について、プライバシーに配慮しながら具体的な出来事を含めて 2000 字程度にまとめる。
6. 活動計画：これまでの社会活動を踏まえて、研修修了後の臨床宗教師としての活動計画について、できるだけ具体的に 1000 字程度にまとめる。
7. 会話記録：別添（HP からダウンロード）の「会話記録の作成方法」を参考にして、最近 1 か月以内に信徒等と交わした会話を元にした会話記録を作成する。プライバシーに配慮し、自分の名前以外は固有名詞を用いないこと（適宜イニシャル等を用いる）。A4 用紙 2 枚以内にまとめる。

＜実習先（定員）＞

「福島」（1 名）：ふくしま在宅緩和ケアクリニック、福島県内仮設住宅訪問

「日高見」（4 名）：岡部医院、カフェ・デ・モンク

「宮城野」（1 名）：光ヶ丘スペルマン病院ホスピス病棟

「太白」（1 名）：ホームホスピスにじいろのいえ

「杉並」（2 名）：佼成病院ビハラー病棟

「上尾」（1 名）：上尾中央総合病院緩和ケア病棟

「長岡」（2 名）：長岡西病院ビハラー病棟

「新潟」（1 名）：新潟市内の総合病院（依頼中）

「岐阜」（1 名）：小笠原内科

「大垣」(2名): 沼口医院

「松阪」(2名): 松阪市民病院緩和ケア病棟

「阪神」(1名): 西栄寺訪問介護事業

「天草」(1名): 特別養護老人ホームひかりの園

※実習時間は、1ヶ月間に12時間以上×2ヶ月分＝24時間以上、とする。

※全体会の中でも、追悼巡礼、カフェ・デ・モンクの実習を行う。

【研修の概要】

＜事前学習＞

- ・課題学習： 研修中に行う講義の予習として、事前に送付する資料に基づいて学習する。

＜実習（予定）＞

- ・岡部医院： 故岡部健医師が設立した、医療法人社団爽秋会による在宅緩和ケアの専門機関。岡部医院スタッフの訪問活動に同伴し、がん患者の療養生活の場を見学（必ずしも患者さん・ご家族との対話ができるとは限らない）。訪問先は名取市内・仙台市内、平日日中の訪問に帯同する。
- ・ふくしま在宅緩和ケアクリニック： 故岡部健医師が設立した、医療法人社団爽秋会による在宅緩和ケアの専門機関。クリニックの訪問活動に同伴し、がん患者の療養生活の場を見学（必ずしも患者さん・ご家族との対話ができるとは限らない）。訪問先は福島市内とその周辺、平日日中の訪問に帯同する。
- ・Café de Monk (カフェ・デ・モンク)： 僧侶・牧師などが協力して運営している傾聴移動喫茶。石巻市など三陸海岸や仙台市内で、仮設住宅の集会所でコーヒーやケーキを提供しながら傾聴活動を行っている。
- ・東北ヘルプ： 仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク（東北ヘルプ）は、震災直後から様々な被災支援活動を行っており、宗教協力にも積極的である。この実習では、福島支援の傾聴活動に同行する。
- ・光ヶ丘スペルマン病院ホスピス： カトリック仙台教区が母体となって設立された一般財団法人光ヶ丘愛世会が運営する院内独立型の緩和ケア内科病棟。棟内に小聖堂と祈りの間があり、毎月第三火曜日14時30分からミサがある（参加自由）。パストラルケアワーカー1名が常駐し、パストラルケアボランティアも関わる。実習は、平日の8時30分～17時。仙台市宮城野区。
- ・にじいろのいえ： 一般社団法人月虹が運営するホームホスピスとケアプラン・ヘルパーステーション。臨床宗教師がボランティアとして活動。実習は原則として平日の9時～17時だが、8時～20時及び土日にも応談。仙台市太白区。
- ・佼成病院ビハーク病棟： 立正佼成会附属佼成病院内の院内病棟型緩和ケア病棟。病棟内に御宝前があり、スピリチュアルケアワーカー（心の相談員）がボランティアとして活動する。実習は、平日の9時～17時（初回は火曜・金曜以外で）。東京都杉並区。
- ・上尾中央総合病院緩和ケア病棟： 医療法人社団愛友会が運営する総合病院内の緩和ケア病棟。傾聴ボランティア、スピリチュアルケアワーカー、臨床宗教師がボランティアとして活動している。実習は平日の9時～17時（初日は水曜以外）。事前に抗体検査が必要。埼玉県上尾市。
- ・長岡西病院ビハーク病棟： 医療法人崇徳会が運営する仏教系緩和ケア病棟。病棟内に仏堂があり、朝夕に読経の時間がある。常勤ビハーク僧の他に、十数名の地元の僧侶がボランティアとして関わる（超宗派）。実習は、ビハーク僧の勤務にあわせて原則として平日の8時15分～17時。新潟県長岡市。
- ・新潟市内の総合病院： 実習は原則として平日の9時～17時。新潟市中央区。
- ・小笠原内科： 医療法人聖徳会が運営するクリニックと訪問看護ステーション・介護支援サービスによる在宅緩和ケアを行う。緩和デイケアも実施。独居の看取りにも傾注しているので、ボランティア

多数登録。実習は平日の9時～17時。岐阜県岐阜市。

- ・沼口医院：医療法人徳養会が運営するクリニックと、訪問看護ステーション・アミターユスにより、在宅緩和ケアを行う。看護師による訪問看護は平日の8時30分～17時。医師による訪問診療は火曜日（13時～17時）と金曜日（13時～20時）。岐阜県大垣市。
- ・松阪市民病院緩和ケア病棟：松阪市が運営する市民病院内にある院内独立型の緩和ケア病棟。臨床宗教師がボランティアとして活動している。実習は平日の8時30分～17時15分。三重県松阪市。
- ・西栄寺訪問介護事業はい！にこ！ぼん！支縁サービス：「宗教法人としての訪問介護事業」を行う。サービス管理者の吉田敬一師は、第1回臨床宗教師研修修了者。実習は、平日の9時～17時。
- ・特別養護老人ホームひかりの園：社会福祉法人が運営する仏教理念をもち、看取りを実施している特別養護老人ホーム。施設長は浄土真宗本願寺派僧侶。毎朝10時から勤行の時間あり。実習は、平日の9時～17時（他の日時は応談）。
- ・追悼巡礼：慰霊・鎮魂・追悼のために、祈り、読経をしながら被災地を歩く。

<講義>

臨床宗教師の倫理	「臨床宗教師倫理規定」に基づいて、臨床宗教師に求められる基本的な態度、及び禁止事項について学ぶ。
臨床宗教師の理念	臨床宗教師を提唱するに至った経緯、社会的背景、将来像について学ぶ。
公共性の確保	宗教者が公共性を確保するために必要な知識と知恵について、事例に則して学ぶ。
宗教間対話	他の宗教者と協働するための思想や行動について学ぶ。
民間信仰論	地域社会における共同体やその成員の宗教文化の基層をなす民間信仰と、現代社会における宗教の意義について学ぶ。
地域と文化	地域の文化・慣習、地理、言語など、実習先となる地域を理解するための基本的情報について学ぶ。
人権擁護	ジェンダー、民族、同和問題など人権擁護に関する基礎知識を確認する。
スピリチュアルケア	ホスピス運動とともに注目されるようになったスピリチュアルケアについて、その方法と基本姿勢を理解する。
宗教的ケア	スピリチュアルケアと宗教的ケアの相違と共通点について、具体的な方法を交えて確認した上で、宗教的ケアの特徴を理解する。
グリーフケア	行方不明者家族の心理的特徴（あいまいな喪失）を含め、喪失体験による悲嘆（グリーフ）とそのケアについて、宗教との関連を中心に学ぶ。
精神保健と医療	うつやPTSDなど、精神保健分野における課題についての基礎知識を学ぶ。
在宅緩和ケア	がん発症から、治療、緩和ケアまでのプロセスを踏まえて、在宅ケアの目的・ケア方法、訪問先での留意事項について学ぶ。
カフェ・デ・モンク	実習現場である傾聴移動喫茶 Café de Monk の目的・実践、そして現場での留意事項についての特別講義。
放射能の影響	放射能についての基礎知識と、実習現場である食品放射能計測所や、福島の実地から聞こえてくる苦悩についての特別講義。

<グループワーク>

日常儀礼	信徒が行う日常的な儀礼を実施し、研修生全員で共有する。毎日朝晩に実施して一日の区切りとする。必要最低限の祭具で行う。
研修振り返り	全体会での学びを中心に、自分自身の課題を明らかにする。
実習振り返り	実習で経験したことを研修生全員で共有する反省会。
傾聴	話す・聴く・観るの3人組のワークにより、傾聴についての基本姿勢を学ぶ。

死の体験	一人称の死を擬似的に経験することで、死別や死を迎える心理について思いを馳せ、グリーフケアやターミナルケアへの準備とする。
ロールプレイ	人々が悲嘆している時、死についての苦悩、「霊的現象」についての相談などへの対応（対話や儀礼）を、ロールプレイ（役割演技）で実演する。
会話記録	特に印象に残ったケースについて会話記録を作成し、読み合わせによって現場での経験を共有し、相互に学びあう。

<主な研修担当者>

- ・谷山洋三（たにやま・ようぞう） 東北大学大学院文学研究科准教授、「心の相談室」理事、日本スピリチュアルケア学会評議員、仏教看護・ビハラー学会理事、元・長岡西病院ビハラー僧。
- ・金田諦應（かねた・たいおう） 曹洞宗通大寺住職、実践宗教学寄附講座運営委員長、「心の相談室」理事、傾聴移動喫茶 Café de Monk 主宰、自殺防止ネットワーク「風」会員・宮城県相談所運営。
- ・大村哲夫（おおむら・てつお） 東北大学大学院文学研究科専門研究員、臨床心理士、元爽秋会岡部医院チャプレン
- ・森田敬史（もりた・たかふみ） 長岡西病院ビハラー僧。
- ・高橋悦堂（たかはし・えつどう） 曹洞宗普門寺副住職。爽秋会岡部医院・ふくしま在宅緩和ケアクリニック臨床宗教師ボランティア。

<予定表（例）> 次ページ

※現地の状況の変化などにより予定を変更することがあります。

※必ず細部まで目を通し、自分の課題に適した実習先を希望してください。

【申込・問合せ先】

東北大学大学院文学研究科 実践宗教学寄附講座 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

Homepage: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/p-religion/top.html>

Email: j-shukyo@g-mail.tohoku-university.jp

Tel&Fax: 022-795-3831 ※お問い合わせはEメールもしくはファックスをお願いします。

（原則として火曜・木曜に事務補佐員が在室）

第9回臨床宗教師研修(3ヶ月、看取り＆被災者支援)

- ・講義とグループワークは、受講者全員が集まって2泊3日もしくは1泊2日で実施する(「全体会」と呼ぶ)。
- ・実習先は、岡部医院、ふくしま在宅緩和ケアクリニック、カフエデモンク、東北ヘルツ、にじいろのいえ、スベルマン病院ホスピス、佼成病院ビハーク病棟、長岡西病院ビハーク病棟、新潟市内の総合病
上尾中央総合病院緩和ケア病棟、小笠原内科、沼口医院、松阪市民病院緩和ケア病棟、西米き訪問介護事業はいにこいぼん、支援サービス、特別養護老人ホームひかりの園
- ・受講者は最大15名とし、実習先ごとに14班に分ける(福島、日高見A・B、宮城野、太白、杉並、上尾、新潟、岐阜、大垣、松阪、阪神、天草)。実習班ごとに定員を定めて受講者を募集する。
- ・実習日程は、受講者が直接実習先に連絡し、現場担当者と相談して決める。ただし、同時に複数の実習生を受け入れられるのはカフエデモンクのみ。
- ・実習は月2～3回程度として受講者と実習先の相談によって実習日を決める。やむを得ない場合は、実習期間1で8時間以上経験し、不足分は次の実習期間2で補うことができる。
- ・研修費は無料。交通費、宿泊費、病院等施設実習費は自己負担。

	実習先略称		福島 1名	日高見A 2名	日高見B 2名	宮城野 1名	太白 1名	杉並 2名	上尾 1名	長岡 2名	新潟 1名	岐阜 1名	大垣 2名	松阪 2名
	定員													
	実習先		ふくしま在宅、 福島訪問(東北ヘルツ)	岡部医院、 カフェエモンク	岡部医院、 カフェエモンク	スベルマン病 院ホスピス病 棟	にじいろのい え	佼成病院ビ ハーク病棟	上尾中央総 合病院緩和ケ ア病棟	長岡西病院ビ ハーク病棟	新潟市内の 総合病院	小笠原内科	沼口医院	松阪市民病 院緩和ケア病 棟
3月中旬	実習準備		各実習先に提出する書類の準備(臨床研修同意書、実習依頼書など)											
3月下旬～	事前学習		講義の予習課題による事前学習											
5月16日～ 18日	全体会1		講義(理念、倫理、地域と文化、カフェエモンク、在宅緩和ケア、スピリチュアルケア、公共性、会話記録の作成法)、 グループワーク(日常儀礼、死の経験、傾聴、実習振り返り、ロールプレイ、研修振り返り)、実習(追悼巡礼、カフェエモンク)											
5月19日～ 6月13日	実習期間1		ふくしま(12 h)	カフェ(12h)	岡部(12h)	スベルマン (12h)	にじいろ(12 h)	佼成(12h)	上尾(12h)	長岡(12h)	新潟(12h)	小笠原(12h)	沼口(12h)	松阪(12h)
6月14日～ 15日	全体会2		講義(精神保健、民間信仰論、宗教的ケア、グループケア)、 グループワーク(日常儀礼、実習振り返り、会話記録、研修振り返り)、実習(追悼巡礼)											
7月18日～ 12月14日	実習期間2		東北ヘルツ (8h)	岡部(12h)	カフェ(12h)	スベルマン (12h)	にじいろ(12 h)	佼成(12h)	上尾(12h)	長岡(12h)	新潟(12h)	小笠原(12h)	沼口(12h)	松阪(12h)
7月19日～ 21日	全体会3 (修了)		講義(人権擁護、放射能、宗教間対話、実践宗教学)、 グループワーク(日常儀礼、実習振り返り、会話記録、研修振り返り)、修了式											

- ・岡部医院とふくしま在宅緩和ケアクリニックでの実習は、「医師による訪問」の見学と、「看護師による訪問」の見学を予定しているが、患者・家族と対話をする機会は保証されていない。
- 1日参加を8h、半日(午後)を4hと計算する。そのため対話が可能なカフエデモンク、被災者訪問(東北ヘルツ)での実習を組み合わせる。
- ・カフエデモンクでは被災者との対話が可能。1回目は通大寺での準備・片付けを含む8hとし、現地集合の場合は4hと計算する。
- ・スベルマンでは、原則としてお茶出しのボランティアなどと共に行動し、患者／家族の希望者がいれば対話が可能。1日参加を8h、半日を4hと計算する。
- ・にじいろのいえでは、希望に応じて8時から20時まで実習可能。
- ・佼成ビハークでは、1日参加(医師の回診に同行)を8h、半日を4hと計算する。
- ・上尾では、平日の9-17時(初日は水曜以外)、水曜日チームカンファレンス・回診があるので一度は経験すること。事前にシントゲンと抗体検査が必要。
- ・長岡ビハークでは、了解を得た患者・家族との対話が可能。読経・法話など、ビハーク僧の業務を補助・代行することが求められる。1日参加を8h、半日を4hと計算する。
- ・新潟では、医師／看護師の訪問に同行する。1日参加を8h、半日を4hと計算する。初回は月曜か水曜を希望。火曜・木曜ならば午後から。
- ・小笠原内科では、医師又は看護師の訪問に同行する。1日参加を8h、半日を4hと計算する。
- ・沼口医院では、「医師による訪問」同行(火金午後)を4h、「看護師／臨床宗教師による訪問」同行(月～金)を8hと計算する。
- ・松阪市民病院では、医師／臨床宗教師の訪室に同行する。1日参加を8h、半日を4hと計算する。
- ・西米寺では、原則としてサービス管理者(僧侶、臨床宗教師)の訪問に同行する。1日参加を8h、半日を4hと計算する。

第 9 回「臨床宗教師研修」参加申込書				
ふりがな 氏 名		男・女	生年月日 (年齢)	1 9 年 月 日 (歳)
住 所	〒			
電話番号		Email アドレス		
FAX		緊急連絡先電話 (氏名)		
携帯電話		携帯電話の メールアドレス		
所 属 教団名				
所属教会/寺社/団体名	1 (宗教者としての所属先・肩書き)		2 (左記以外にある場合)	
所属 1 連絡先	〒 電話番号			
所属 2 連絡先	〒 電話番号			
希望する 実習先	第 1 希望	第 2 希望	第 3 希望	
備 考				

この用紙はHPからダウンロードできます。

期日までに郵送してください。

【郵送先】 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1
東北大学大学院文学研究科 実践宗教学寄附講座